

北海道・札幌 2030 オリンピック・パラリンピック招致を応援する

指定都市市長会決議

1972 年 2 月にアジア初の冬季オリンピックを開催し国際都市として大きく飛躍した札幌市は、北海道・札幌における初めてのパラリンピック、そして二度目となるオリンピックを 2030 年に実現するため、招致活動を行っています。

少子高齢化や人口減少などの問題は成熟都市に共通にみられ、持続可能なまちとして、世界から人や投資を呼び込み魅力溢れる都市へと発展させることは、日本経済を牽引する指定都市が抱える喫緊の課題です。

オリンピック・パラリンピックは、まちと心のバリアフリーを加速させ、スポーツを通じた国際平和の推進や、共生社会の実現に向けた多様性の尊重、クライメートポジティブな大会の実現など、地球規模の課題解決に向け、国境を越えて人々が力を結集し、大会後の世界がよりよいものになることが期待されます。

さらには、将来を担う子どもたちに大いなる夢と希望を与え、一人一人の違いを認め尊重しあう共生社会の実現や平和の素晴らしさを感じる機会となります。

今後開催を予定している 2025 年日本国際博覧会、2026 年の第 20 回アジア競技大会や第 5 回アジアパラ競技大会、2027 年の国際園芸博覧会といった大規模な国際的イベントに続いて、2030 年にオリンピック・パラリンピックを開催することで、日本が誇る文化や伝統、街並みを、切れ目なく世界に向けて発信することとなり、日本社会全体が未来に向かって輝き続けることになるものと期待されます。

北海道・札幌 2030 オリンピック・パラリンピック競技大会の招致の実現に向けて、指定都市市長会は、札幌市の招致活動を応援していきます。

令和 年 月 日
指定都市市長会